

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 684 号

2018年6月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

2017年度

## アルミニウム 2次地金・合金生産

### 80万トン台回復

一般社団法人日本アルミニウム合金協会はこのほど2017年度(2017年4月～2018年3月)のアルミニウム2次地金と同合金の生産と出荷の実績を発表した。

これによれば、生産は805,149トンで前年度に比べて1.5%増加した。2015年度と2016年度の両年度の80万トン割れから脱却した。

出荷は814,213トンで前年度に比べて1.6%増加した。産業部門別では、総需要の80%を占めるダイカストと鋳物の両部門が、自動車生産の好調とノックダウン部品輸出の好調に支えられてダイカストは1.2%、鋳物は2.6%と順調な伸びを見せた。

板は缶の需要頭打ちで2014年度、2015年度、

2016年度と連続3年度の前年割れから脱却したものの伸びは0.6%にとどまった。

押出しは建築の増加に支えられて6.3%と大きな増加を見せた。

2018年度の見通しは、アメリカのトランプ政策で自動車と部品の輸入の防止策が表明されており、その実施がどのような形になるか今日のところ不明な点が多いので先行きが読めない。

自動車と部品の輸入を、25%の高関税をかけて締め出すという説を流しているが、このような政策は米国内のユーザーや販売店に与えるショックが大き過ぎると思われる。

### アルミ 2次地金・合金の生産と出荷

		2015年度	2016年度	2017年度
総	生産量	776,115 (-4.7)	792,877 (+2.2)	805,149 (+1.5)
総	出荷量	785,920 (-4.9)	801,428 (+2.0)	814,213 (+1.6)
部 門 別 出 荷 量	ダイカスト	440,900 (-4.0)	456,391 (+3.5)	461,870 (+1.2)
	鋳物	196,614 (-7.4)	196,489 (-0.1)	201,581 (+2.6)
	板	56,798 (-2.4)	53,257 (-6.2)	53,587 (+0.6)
	押出	22,649 (+9.4)	22,744 (+0.4)	24,186 (+6.3)
	鉄鋼	39,946 (-14.2)	42,288 (+5.9)	43,341 (+2.5)
	合金メーカー向	28,601 (-1.1)	28,436 (-0.6)	27,811 (-2.2)

(単位：トン、カッコ内は前年比パーセント)

## 日本アルミニウム合金協会 定 時 総 会 開 催

5 月 1 6 日 ・ 東 京

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は5月16日東京虎ノ門の霞山会館で第44回定時総会を開催した。役員の変更で次の諸氏が新役員に選任された。

会 長 北山 悟氏 (エスエスアルミ)  
副会長 山本隆章氏 (大紀アルミ)  
副会長 朝来野修一氏 (日軽エムシーアルミ)  
副会長 上田雄三氏 (福岡アルミ)  
事務理事 森本 興氏

総会の席上、平成29年度の決算と平成30年度の予算が承認された。

総会のあと、関係者110人が参加して懇親会が開催され、冒頭で北山会長が次のように挨拶した。

自動車生産が高水準に推移して、業界の環境は大そう恵まれている。  
しかし、一方でアルミニウム・スクラップの海外

流出の増大傾向や、輸入品との製品の競合問題など業界をとり巻く環境は問題が多い。

業界の団結力で対処したい。  
総会の席上、高橋記念賞の受賞者が発表された。

### 高橋記念賞

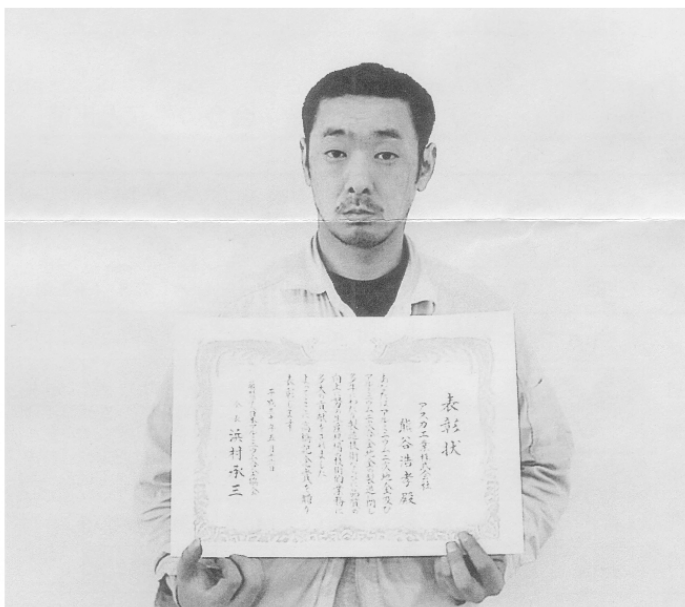
故高橋愛次氏 (株式会社アーレスティの創業社長)のご遺志によって創立された業界で最も由緒ある賞で昭和54年 (1979年) 6月第1回が発足した。

アルミニウム合金地金・2次地金製造の技術向上、合理化などに創意工夫を通じて功労のあった現場の技術者に与えられる。

本年度はアスカ工業株式会社から熊谷浩孝君を推薦、目出度く受賞した。熊谷君は溶解担当として活躍、社員の信頼も厚く今回の受賞が決まった。

お  
め  
で  
と  
う

高橋記念賞に輝く熊谷君





### 三ヶ根あじさいまつり

三ヶ根スカイラインは西尾市から形原温泉を結ぶ約5 kmの道路で、「あじさいライン」として知られており、6月から7月上旬に約7万本のあじさいが咲く山路を抜けると、眼下に三河湾の大パノラマが広がる。

6月1日（金）から6月30日（土）まで「三ヶ根あじさいまつり」が行われ、あじさいの花と三河湾の眺望が楽しめる。

（写真・あじさいと三河湾）

## 3月生産

## アルミ鋳物 ダイカスト 10年ぶり高水準

経済産業省がこのほど発表した2018年3月の生産動態統計によれば、アルミニウム鋳物の生産量は前年同月に比べて3.2%の増加で40,906トン、アルミニウムダイカストは2%の増加で93,313トンだった。

好調な自動車生産を背景に、アルミニウム鋳物は2007年10月以来、アルミニウムダイカストは2008年7月以来の高水準となり、両者とも20ヶ月連続し前年水準を上回る高生産を記録した。

アルミニウム鋳物では、主力の輸送機械が3%増の39,139トンで20ヶ月連続のプラス。一般機械は5%増の776トンで20ヶ月連続のプラス。公共事業や土木建築関連などが含まれるその他は10.7%増の991トンで2ヶ月ぶりに前年実績を上回った。

アルミニウムダイカストは、主力の自動車が1.8%増の20ヶ月連続のプラス。一方、二輪車は6.5%減と3ヶ月連続の減少。

一般機械は6%プラスで18ヶ月連続の増加、電気機械も11.1%増で10ヶ月連続して前年実績を上回った。その他は7.7%増で11ヶ月連続のプラスを記録した。

アルミニウム鋳物、アルミニウムダイカストともに10年ぶりの高水準の生産をマークして記念すべき3月となった。

当面は引き続いて高水準の操業が維持される情勢で

あり、大いに期待されているが、最近のアメリカの通商政策が輸入抑制で高率関税を主張しはじめており、大きな国際問題となる不安が発生してきており、楽観が許されない。

### 3月アルミ鋳物・ダイカスト生産

（単位トン・前年比%）

①アルミ鋳物	40,906	(103.2)
② 一般機械	776	(105.0)
③ 輸送機械	39,139	(103.0)
④ その他	991	(110.7)
⑤アルミ・ダイカスト	93,313	(102.0)
⑥ 一般機械	2,817	(106.0)
⑦ 電気機械	1,639	(111.1)
⑧ 自動車	83,417	(101.8)
⑨ 二輪車	2,383	(93.5)
⑩ その他	3,056	(107.7)



## 仁吉まつり 6月3日源徳寺

義理と人情の世界に生きた男、吉良の仁吉をしのぶ「仁吉まつり」が6月3日（日曜日）西尾市吉良町上横須賀の源徳寺で催される。吉良首頭の総おどり大会はじめ地元物産展など多くのイベントが企画されている。

吉良の仁吉は江戸末期、伊勢の荒神山の決闘で穴太徳（あうとく）と戦い、勝利を取めたものの銃弾を受けて死亡、28才であった。

多勢に無勢の不利の戦いをあえて買って出た背景は、一宿一飯の悪人神戸（かんべ）の長吉への熱い仁侠の心意気と伝えられ、源徳寺の墓は清水の次郎長により建立された。

源徳寺は名鉄西尾線上横須賀（かみよこすか）下車徒歩数分。左の立像は吉良図書館所蔵の吉良の仁吉。

## 社内情報

- ◎熊谷浩孝君、高橋記念賞受賞おめでとう。2004年3月入社以来、13年にわたり熱心な生産性の向上と作業安全の努力が認められ、晴れの受賞となりました。今後も後輩の模範としての努力が大いに期待されています。
- ◎アルミニウム鋳物・ダイカスト共々高生産水準が続きご同慶に堪えません。
- ◎好調の需要にフル生産で対応しています。

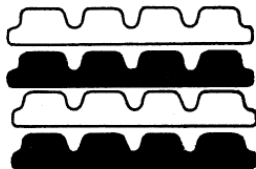
## 編集後記

- アメリカのトランプ政権が自動車と部品の輸入に25パーセントの高関税でアメリカ自動車業界をテコ入れすると発表しています。
- 世界の貿易構造にどのような変化が起きるか予想ができません。
- 異常な高関税政策は、消費者から不満が出ることが予想されます。
- アメリカ政府の慎重な貿易政策が期待されます。

## アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

## アスカ工業株式会社

〒444-0303  
愛知県西尾市中畑町卯新田上28  
TEL <0563> 77-0500(代)  
FAX <0563> 77-0501  
<http://www.al-asuka.jp/>